



防災意識の高揚 ～津波災害に備えて～



11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」です。

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓として、津波対策を総合的かつ効果的に推進するため、同年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、津波対策に関する観測体制の強化などを規定するとともに、11月5日を「津波防災の日」と決めました。

また、平成27年12月に開催された第70回国連総会本会議でも「世界津波の日」として採択されました。

11月5日の「津波防災の日」には、津波対策について国民の理解と関心を高めるために、全国各地で防災訓練やシンポジウムなどが開催されています。

津波警報・注意報の分類

【気象庁資料参照】

種類	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の 津波の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1m 20cm<高さ≤1m	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 

- ※ 予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表されますが、地震のマグニチュードが8を超えるような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに津波警報・注意報を発表します。その場合、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。
- ※ 震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ※ 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。



**自転車盗が
続発しています！**

- ★ 短時間でも鍵かけを忘れずに！
- ★ 備え付けの鍵のほか、ワイヤーロックなどを活用しましょう！
- ★ 路上ではなく、設備の整った駐輪場に止めましょう！



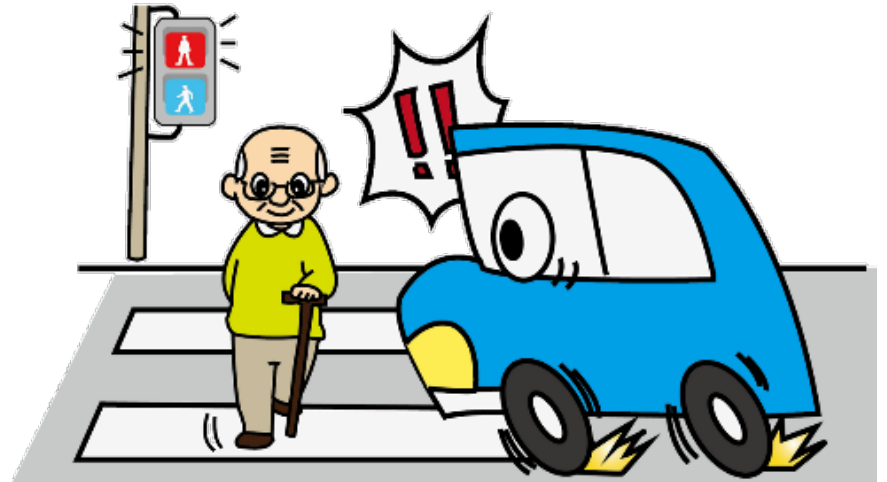
道路を横断する際の違反行為

早朝、夜間に横断歩道の無い場所で道路を横断し、車にはねられるという痛ましい死亡事故が県下で多発しています。

暗い道では、あなたの姿が運転手から見えていたとは限りません。
正しい方法で道路を横断しなければ、歩行者が交通違反となる場合があるので注意してください。

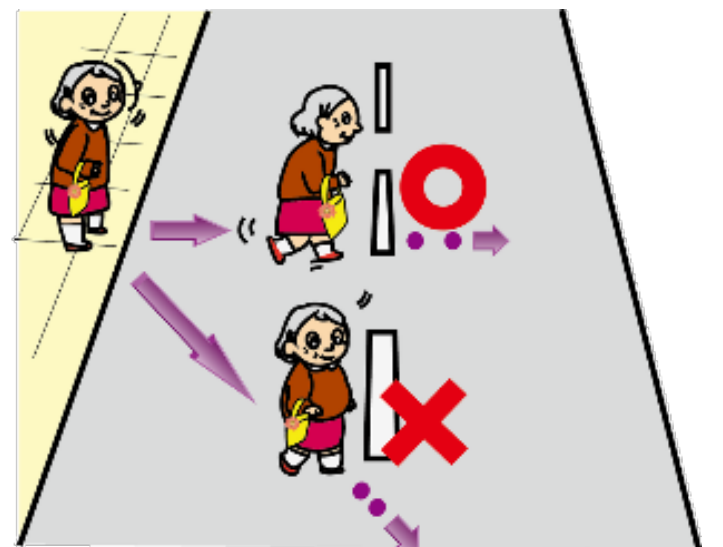
赤色信号無視

道路交通法 第七条 第一項
歩行者は、信号機の表示する信号に従わなければいけません。



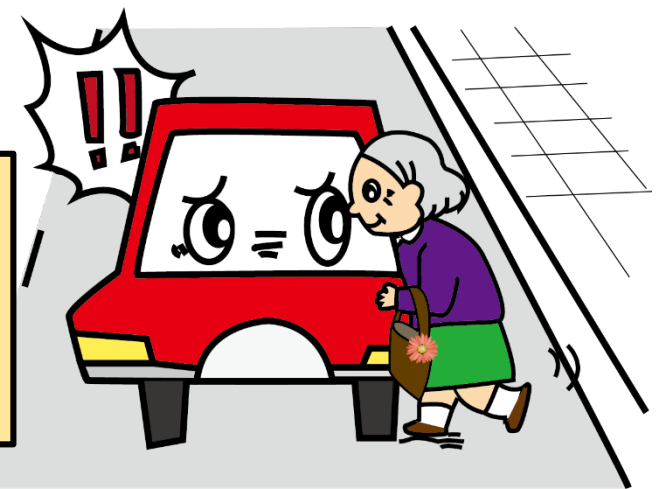
斜め横断

道路交通法 第十二条 第二項
歩行者は斜めに道路を横断してはいけません。



車の直前、直後の横断

道路交通法 第十三条 第一項
歩行者は車の直前または直後で道路を横断してはいけません。



横断禁止場所の横断

道路交通法 第十三条 第二項
歩行者は道路標識によって横断が禁止されている場所では横断してはいけません。



須 磨 警 察 署